

さいたま自転車
まちづくりプラン

さいたま は 一 と

概要版



1. 計画策定の目的

本市は、自転車を利用しやすい環境が整っていることから、日常的に多くの市民が、自転車を利用して利用しています。自転車を活用したまちづくりは、自転車利用者の経済面・健康面に寄与し、歩行環境の改善や賑わいの創出、環境にやさしいまちづくりにつながってきます。一方で、自転車関連事故は多く、ルールの遵守やマナーの意識も低い状況にあり、問題となっています。今後、「自転車のまちづくり」を積極的に推進していくため、自転車政策の柱である「たのしむ」、「まもる」、「はしる」、「とめる」という視点から、自転車に関する様々な取組を総合的にとりまとめる「自転車まちづくりプラン～さいたまはーと～」を策定することにしました。

本計画により、自転車の位置づけを明確化し、更なる自転車利用の促進、歩行者の安全性の確保を図り、本市の魅力と活力向上に資することを目的とします。

2. 計画の期間・対象地域

- 計画の期間は平成28～37年度の10年間、対象地域は市内全域です。

3. 自転車利用の魅力

- 自転車は、近距離で最も早く移動が可能な交通手段です。その他、移動コストの低減や健康増進にもつながり、地域経済への貢献、防災面、環境面にも有効な手段です。

①近距離移動における利便性

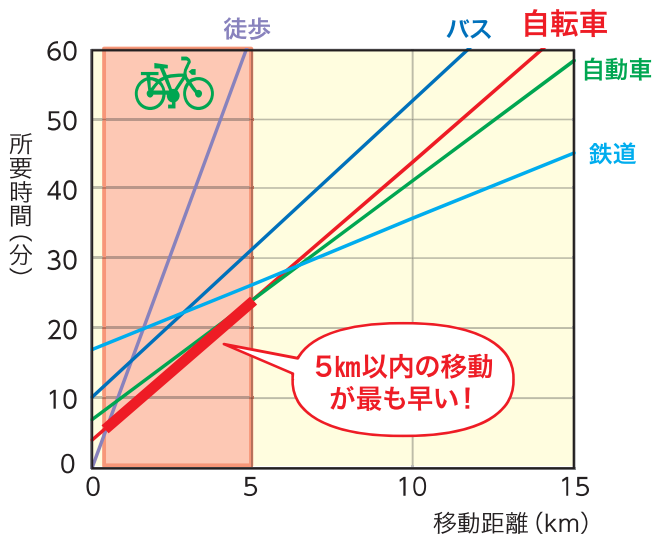


図 自転車利用の時間的利便性

【資料】新たな自転車利用環境のあり方を考える懇談会(国土交通省)

②移動コストの低減



図 自転車通勤と自動車通勤のコストの比較

【資料】市内で5kmの通勤を行う場合の一般的な交通費用

③健康面での有効性

表 自転車による健康向上(3ヶ月で体重・体脂肪率が減少した人の変化)

	体重の平均変化量	体脂肪率の平均変化率
週1回以上自転車で運動	- 0.4kg	- 1.2%
週2回以上自転車で運動	- 1.5kg	- 1.2%
週3回以上自転車で運動	- 1.7kg	- 1.6%

健康に良い!

【資料】株式会社シマノプレスリリース(30～50歳のシマノ社員50人を対象に、2007年8月より3カ月間実験)

④地域経済への貢献

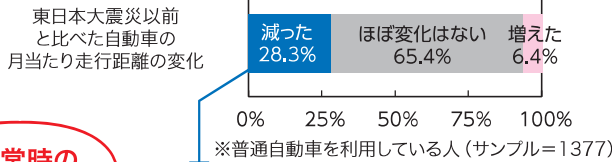
表 自転車利用による買物動向 (交通手段別の買物の金額)

店舗立地	来訪手段	週当たり来店回数	1回の買い物金額 (平均)	週当たり買い物金額
郊外店	車	1.4回/週	7,789円	10,905円
	自転車	回答者なし		
中心市街地店	車	1.9回/週	5,326円	10,119円
	自転車	3.4回/週	3,691円	12,549円

買物金額が高い!

【資料】成功する自転車まちづくり政策と計画のポイント (H22.10) (古倉宗治著)

⑤震災時の有効性



非常時の移動に有効!

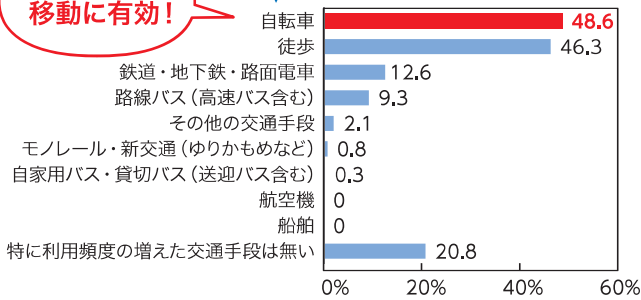
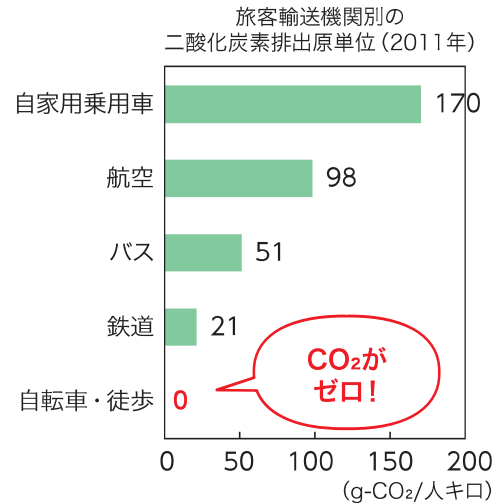


図 東日本大震災後に利用機会が増えた交通手段 (関東、関西、宮城、広島)

【資料】大震災による行動の変化に関する地域別アンケート調査 (日本モビリティ・マネジメント会議)

⑥環境負荷の軽減



CO₂がゼロ!

図 自転車利用による環境負荷の軽減

【資料】運輸・交通と環境2014年版 (公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

4. さいたま市の地域資源

- さいたま市は、自転車の保有状況が非常に高く、地形が平坦で自転車が使いやすく、駅までの通勤・通学や、買い物など、日常的に自転車が利用されています。
- また、自転車関連企業や駅周辺の商業施設、郊外の自然景観、自転車イベントなど、自転車を活かせる地域資源がたくさんあります。

表 自転車保有状況 (14大都市)

	世帯での自転車保有率
さいたま市	83.5%
京都市	82.9%
大阪市	82.0%
名古屋市	74.5%
福岡市	72.3%
千葉市	71.3%
札幌市	69.8%
広島市	69.7%
川崎市	68.2%
東京区部	65.8%
仙台市	63.6%
神戸市	60.2%
横浜市	55.3%
北九州市	52.7%

自転車保有率 No.1!

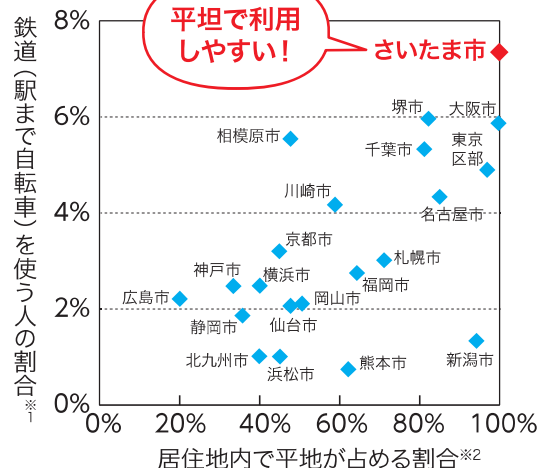


図 平坦性と自転車利用の関係 (政令市)

【資料】平成24年度自転車保有実態に関する調査報告書 (一般財団法人自転車産業振興協会)

【資料】※1 H22国勢調査 (15歳以上の通勤・通学時の交通手段) ※2 H23国土数値情報 (傾斜3°未満の面積割合)

5. さいたま市の自転車の現状

- 全国的に自転車利用が多い一方、自転車事故も多く、放置自転車も少なくありません。
- また、近距離移動では、自転車も使われていますがクルマ利用も多く、自転車利用のルールやマナーを問題と感じている人も多い状況です。

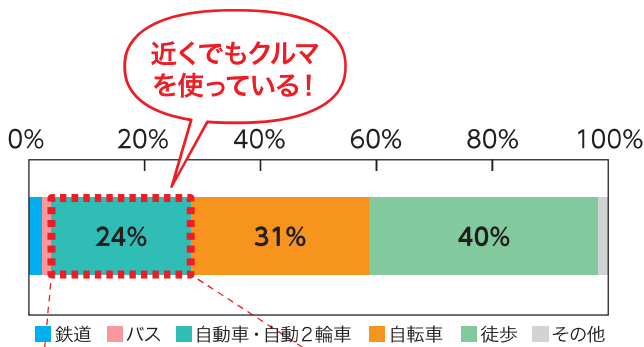


図 5km未満の交通手段分担率(さいたま市)
【資料】H20東京都市圏パーソントリップ調査

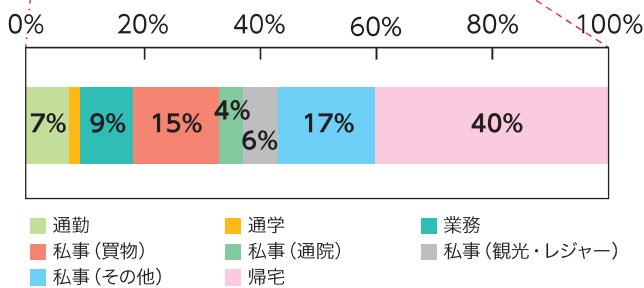


図 5km未満の自動車の移動目的の割合(市内)
【資料】H20東京都市圏パーソントリップ調査

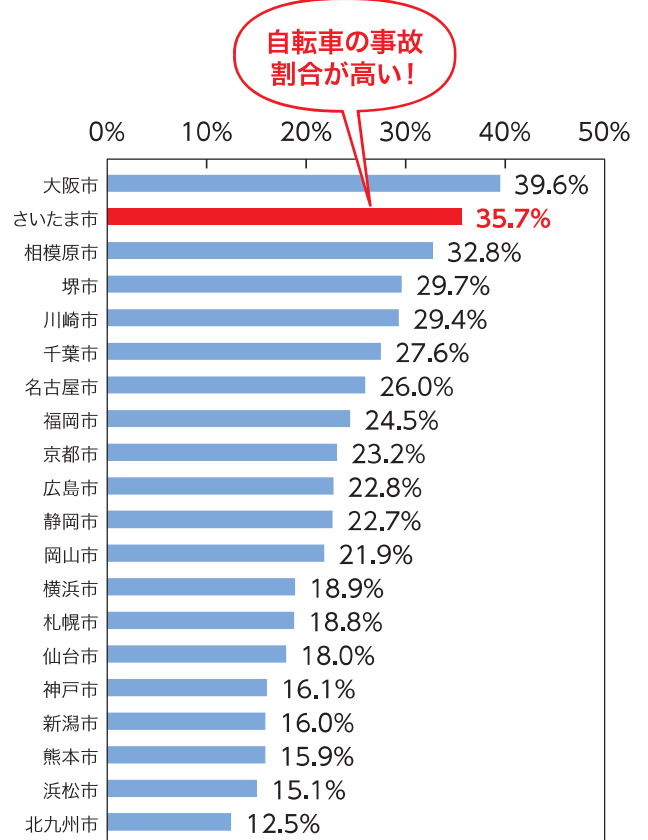


図 全交通事故中の自転車関連事故の割合(政令市)
【資料】H24イタルデータ

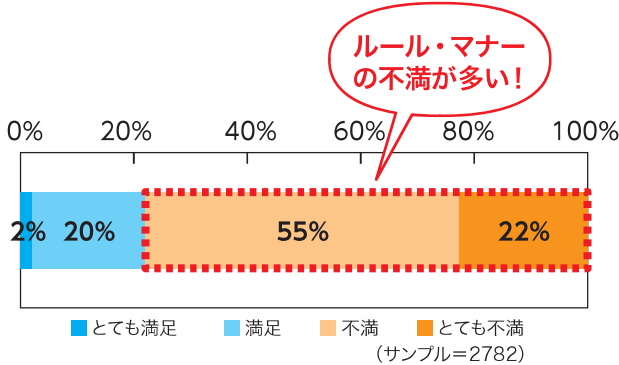


図 自転車利用者のルール・マナーの満足度(さいたま市)
【資料】市民アンケート(H26.11 さいたま市)

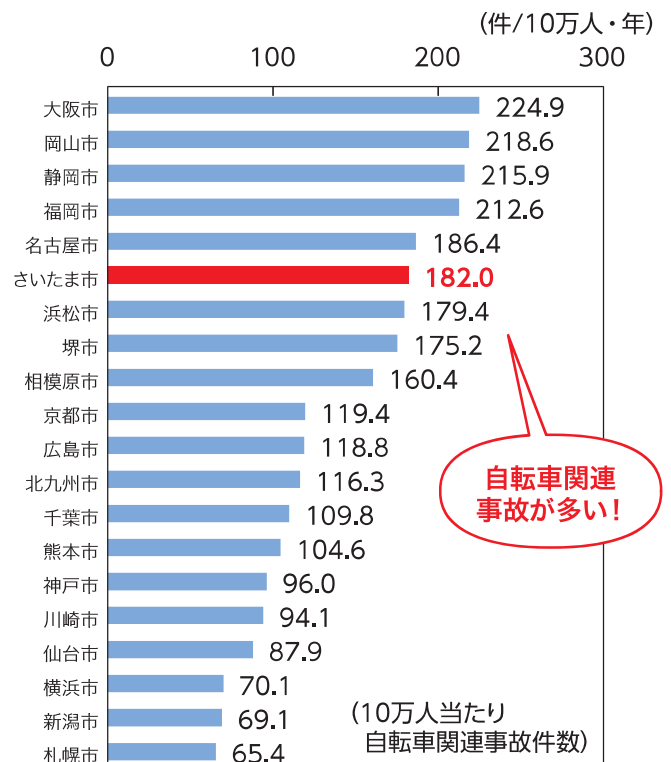


図 政令指定都市別の人口当たり自転車事故件数の比較
【資料】H22 国勢調査、H24イタルデータ

6. 計画の将来像と目標

- これら自転車の魅力・地域資源を活かし、現状の問題・課題を解決していくため、目指すべき将来像と、達成度を確認するため目標を設定しました。また、これら将来像の実現に向けて、自転車を活用したまちづくりとして、「たのしむ」「まもる」「はしる」「とめる」の4つの柱の施策を総合的に進めていきます。

自転車活用の基本的な考え方

- ▶ 近距離の移動で最も重視する交通手段
- ▶ 市民の健幸*を増進し、環境にやさしい交通手段
※健幸：身体面での健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、心豊かな生活を送れること



計画の基本理念

- ▶ 市民・事業者・行政が協働して、誰もが、交通ルール・マナーを守り、安全・安心に、そして、快適に自転車を利用できるまちづくりを進めます。

計画の将来像

人と環境にやさしい 安全で元気な自転車のまち さいたま

- ～健康増進など「元気な暮らしを支える体力づくり」
- ～環境負荷の軽減など「快適を未来につなげるまちづくり」
- ～誰もがルールとマナーを守る「思いやりのある人づくり」
- ～自転車で走り、楽しさや喜びなど「風を感じる空間づくり」

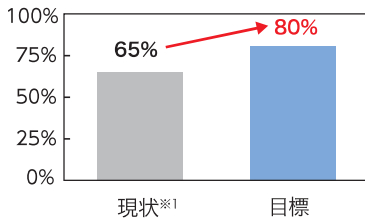
計画の目標

※1 H26市民アンケート結果
 ※2 H26実績(埼玉県警提供)

80%以上の利用促進!

自転車利用の増加

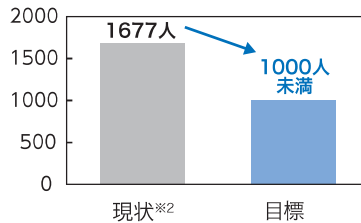
自転車利用者(週1回以上)の割合



年間1,000人未満!

自転車事故の減少

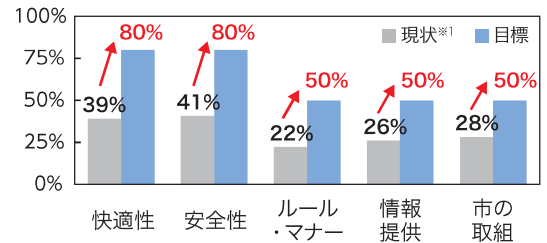
自転車事故死傷者数(人/年)



全ての項目で倍増!

市民満足度の向上

満足している人の割合



計画の柱

「たのしむ」

自転車を活用して余暇を充実させる取組



国際サイクルレース



コミュニティサイクル

「まもる」

自転車の正しい利用の仕方を身に付けてもらう取組



交通安全教室



スクエアード・ストレイト

「はしる」

自転車通行環境や快適な利用を推進するための取組



ネットワーク整備



電動アシスト普及

「とめる」

自転車駐輪環境を充実させる取組



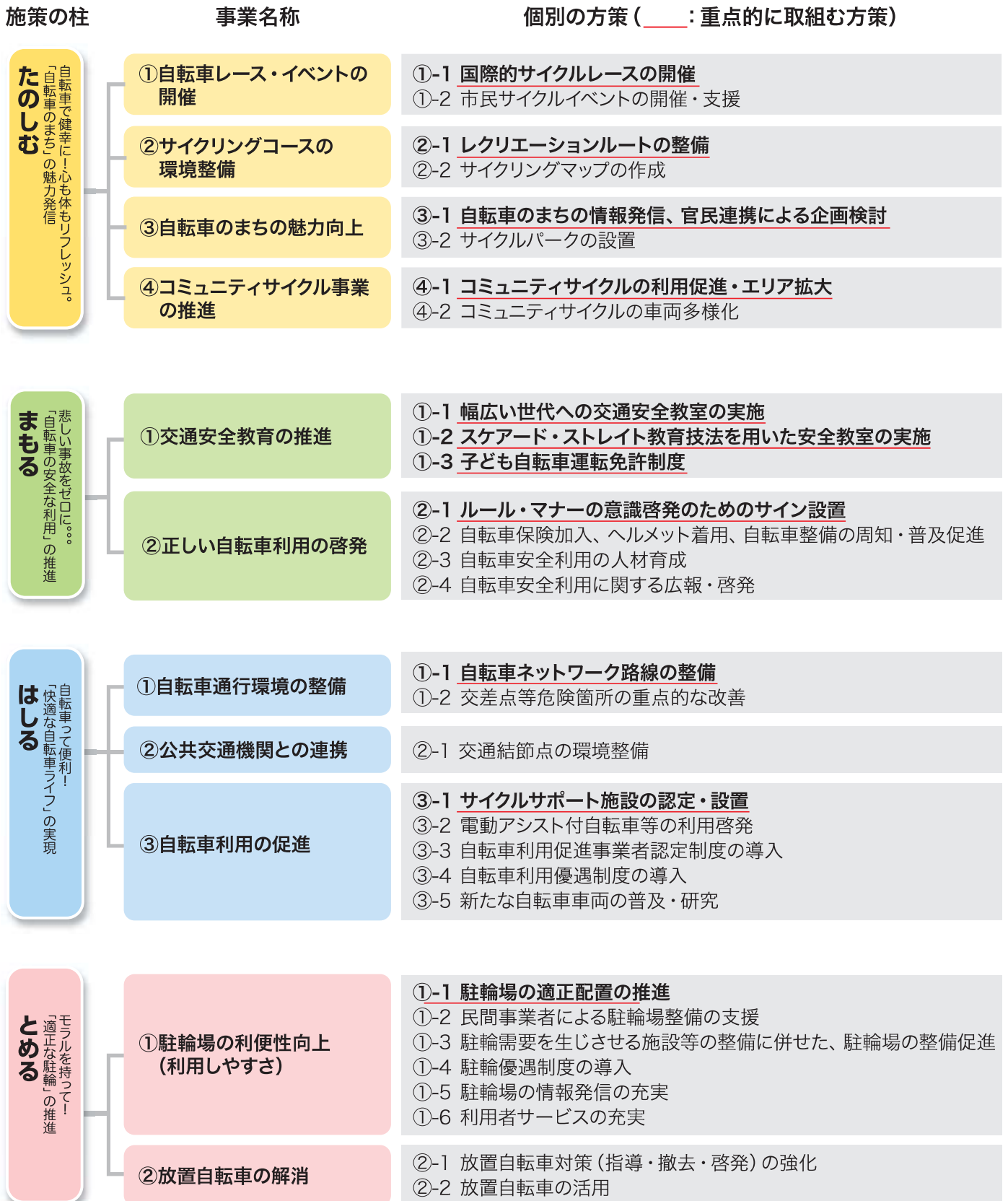
駐輪場整備



放置自転車対策

7. 施策の体系

- 「たのしむ」「まもる」「はしる」「とめる」の4つの柱について、全11事業、全31の個別の方策に取り組んでいきます。



8. 施策の展開内容（主な個別方策の概要）

「自転車で健康に！心も体もリフレッシュ。
「自転車のまち」の魅力発信」

①-1 国際的サイクルレースの開催

スポーツ自転車の凄味・楽しさを伝えて、スポーツの振興及び地域経済の活性化などを図ることを目的に、発信力が高い国際的サイクルレースとして「ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム」を開催します。



さいたまクリテリウム

④-1 コミュニティサイクルの利用促進・エリア拡大

現在、大宮駅周辺で実施しているコミュニティサイクルについて、自転車利用の多い鉄道駅周辺に、サイクルポートを増設し、市域の移動円滑化、周遊を促します。



コミュニティサイクルのサイクルポート

「悲しい事故をゼロに。。。
「自転車の安全な利用」の推進」

①-1 幅広い世代への交通安全教室の実施

ルール遵守とマナー向上を図るために、事故率が高い学生や、死傷率が高い高齢者を中心に「交通安全教室」を実施します。また、教育機会が少ない成人への実施を検討します。



交通安全教室の開催状況

②-1 ルール・マナーの意識啓発のためのサイン設置

道路交通法の罰則強化などによりルールが浸透されつつありますが、自転車が車両という意識が低く、マナーの悪さにつながっています。そのため、通行環境整備と併せたルール・マナー啓発サインを設置します。

「自転車って便利！
「快適な自転車ライフ」の実現」

①-1 自転車ネットワーク路線の整備

さいたま市自転車ネットワーク整備計画に基づき、安心で安全な自転車通行環境を200km整備します。



自転車ピクトグラムの整備例

③-1 サイクルサポート施設の認定・設置

自転車ネットワーク路線やレクリエーションルート沿道中心に、トイレや休憩所などの「サイクルサポート施設（ラック、トイレ、空気入れ等）」の設置を検討します。

「モラルを持って！
「適正な駐輪」の推進」

①-1 駐輪場の適正配置の推進

駅への自転車通勤・通学者の利便向上のために、駐輪場の適正配置を推進します。主要駅周辺で利用しやすい駐輪場の配置を検討します。



民営補助金駐輪場の整備例

②-1 放置自転車対策（指導・撤去・啓発）の強化

公共の場所における放置自転車等の対策として、放置自転車等監視・撤去業務や、ポスターコンクール等の啓発を実施します。